リリースノート:
Plixus (Plixus CRP 6.x)

Rev. 2025-05-23

PLIXUS 6.10.0-16

WHAT'S NEW

- ディスカッションモードが「Request to speak」の場合、CoCon を使用して「Request list」に表示される発言者の順序をドラッグ＆ドロップで並べ替えられるようになりました。（COC-3793、COC-4146、UNIMM-5921）
- スロベニア語の翻訳が追加されました。（UNIMM-5377、UNIMM-5378）

IMPROVEMENTS

- モンゴル語の翻訳を改善しました。（UNIMM-5692）
- タッチスクリーンの性能が向上しました。（UNIMM-5776、UNIMM-5907、UNIMM-5973）
- ロシア語の翻訳を改善しました。（COC-4369、UNIMM-5898、UNIMM-5899）

FIXED ISSUES

- 韓国語利用時、uniCOS デバイスでキーボードが正しく表示されない問題を修正しました。（UNIMM-5215）
- External authentication モードのデュアルデリゲート設定で、FLEX デバイスからログアウトできなかった問題を修正しました。（UNIMM-5397）
- FLEX デバイスで言語セレクター表示中に音量を変更すると、チャンネルセレクターが使用できず音量スライダーも表示されなくなる問題を修正しました。（UNIMM-5539）
- 特定条件下で LinguaID デバイスが誤ってデリゲートデバイスとして認識される、またはその逆が起こり、不適切なオーディオルーティングが発生する問題を修正しました。これは再イニシャライズを行わずにデバイスの追加・削除を繰り返すシステムで発生していました。（UNIMM-5612）
- Ambiance マイクを設定して使用している場合に、Priority または Mute All ボタンが Ambiance マイクまでミュートしてしまう問題を修正しました。（UNIMM-5651）
- 特定状況（例：アップグレード後）で uniCOS ユニットが起動中に停止することがある問題を修正しました。（UNIMM-5801、UNIMM-5908、UNIMM-5944）
- uniCOS デバイスでレースコンディションによりウェブカメラが正しく初期化されず、映像が黒画面になる問題を修正しました。（UNIMM-5955）
- 特定条件下で投票タイマーが正しく表示されない場合がある問題を修正しました。（UNIMM-5980、UNIMM-6006）
- uniCOS デバイスで「投票前再ログイン」オプションを使用している際、投票画面が反応しなくなる可能性がある問題を修正しました。（UNIMM-5993）
- 特定のスクリーンと V-OUT Box の組み合わせでプロトコルネゴシエーションに失敗し、映像がちらつく・色がずれるなど歪む問題を修正しました。（UNIMM-6024）

KNOWN LIMITATIONS

- 本リリースには uniCOS デバイス向けの OS アップグレードが含まれていますが、初期ロットの uniCOS 7 インチ Flush mount デバイスは未対応です。対応は今後のリリースで追加予定です。該当デバイスを含むシステムをアップグレードする際は、必ず事前にサポートへ連絡し、対応ソフトウェアバージョンをご確認ください。
- 本リリースを WAP G4 とカップリングしたシステムで使用する場合は、Confero for Confidea G4 Wireless バージョン 7.14 が必要です。

PLIXUS 6.9.47

FIXED ISSUES

- システムがオフラインの際にデバイスが削除され、席が再初期化され、古いデバイスが再接続されると、設定で同じ席に2つのデバイスが配置されることがあります。これにより、音声が正しくルーティングされないなどの予期しない動作が発生することがあります。（UNIMM-5705）
- Confidea FLEX & uniCOS：レースコンディションのため、ユニットでの投票が常に正しく登録されず、反応が遅れたり、投票がシステムに登録されず、ユーザーが再度投票ボタンを押さなければならないことがありました。（備考：投票は決して誤って登録されることはありませんでした）（UNIMM-5758およびUNIMM-5759）

- uniCOSのインターフェースで、代表者リストおよびホーム画面において、代表者の写真が正しく表示されない問題が修正されました。（UNIMM-5797）
- uniCOSで、スピーカーおよびリクエストリストが非表示の場合、ディスカッショタブで希望する言語チャンネルを選択することができませんでした。選択部分がビデオで覆われていたためです。（UNIMM-5854）
- uniCOSのUIで、特に多数の代表者が参加する会議の場合、代表者タブ内でサブタブを切り替える際に大きな遅延が発生していました。改善が行われました。（UNIMM-5805）
- uniCOSのUIで、議題がユニットに送信される際に読み込み時間が長くなるパフォーマンスの低下が発生しました。（UNIMM-5825）

KNOWN ISSUES

- アップデートを実行した後、uniCOS 7インチデバイスがアップデート後に正しく再起動しない場合があります。電源を再投入することでこの問題は解決します。（UNIMM-5908）
- uniCOSで、大規模な代表者データベースや広範な議題、またはその両方を使用している場合、ビデオをダブルタップしてもフルスクリーンモードの開閉がうまくいかないことがあります。（UNIMM-5951）

PLIXUS 6.8.18

FIXED ISSUES

- FLEXで複数選択の投票を行う際、投票間の切り替えが可能になりました。（UNIMM-5356）
- 映像のちらつきを防ぐため、V-OUT Boxのファームウェアを以前のバージョンに戻しました。（UNIMM-5418）

PLIXUS 6.8.15

WHAT'S NEW

- クロアチア語が新たに追加（UNIMM-5247、UNIMM-5162、UNIMM-5163、UNIMM-5166、UNIMM-5269）
- PlixusのWebインターフェースからG4ワイヤレス代表者ユニットの電源をオフにできるようになりました（UNIMM-4996、UNIMM-5257）

IMPROVEMENTS

- ライセンスアップロード画面で、アップロードされたファイルがxmlファイルであるかどうかをチェックするようになり、ファイル選択画面ではデフォルトでxmlファイルのみが表示されるようになりました（UNIMM-5242、UNIMM-5308）
- 工場出荷時リセットを実行する際、リセットボタンを20秒間押し続ける必要があります。途中で一度短く（1秒未満）離して再度押し直すと、デバイスがリブートしてGolden Modeに入ってしまうことがありました。これを防ぐため、1秒未満のボタン離しは別の押下としてカウントされないようになりました（UNIMM-5246）
- デバイス初期化の開始時に、既存の設定が削除されることを防ぐため、ユーザーに確認を求める警告が表示されるようになりました（UNIMM-5082）
- Confidea Flexユニットは、ライセンスで許可されていれば、誰もログインしていなくても、また座席に割り当てられていなくても常にチャンネルセレクターを表示するようになりました（UNIMM-4658）

FIXED ISSUES

- 主装置を再起動し、通訳卓が起動するまでバックアップチャンネルの音声が使用できませんでした（UNIMM-5350）
- チャンネルセレクター搭載デバイスにおいて、ボタンを1回押したつもりでも2回押されたと認識され、チャンネルが飛ばされることがありました（UNIMM-5340）
- 特定のFMデバイス向けのファームウェア更新がアップデートパッケージに含まれていませんでした（UNIMM-5312）
- オフラインデバイスを複数削除して再初期化した際、ライセンスが誤ったユニットに再度アクティベートされる可能性がありました（UNIMM-5290）
- v6 PlixusシステムとワイヤレスG4アクセスポイントを組み合わせた場合、新しいG4代表者ユニットのペアリング時に再起動するまで音声設定が正しく反映されませんでした（UNIMM-5281）
- Interactio RSIプラットフォームと統合されたシステムにおいて、一部のメッセージが正しく処理されませんでした（UNIMM-5275）
- V-INの映像ソースを削除した場合、最後に表示された映像が残る、または青い画面が表示されるなど、動作が未定義でした（UNIMM-5255、UNIMM-5261）
- G4アクセスポイントを含む連携システムで空の会議を作成すると、Flex G4画面にエラーメッセージが表示されることがありました（UNIMM-5239）
- 初代7インチFM unicosデバイス（2015年以前のモデル）が、従来のCRPバージョンでは正しく起動しませんでした（UNIMM-5208）
- 通訳卓における聴覚保護機能が改善されました（UNIMM-5358）新しい測定手法に基づき、ISOCD20109（ドラフト）規格第5.1.7節への対応準備として、以下のように仕様が変更されました

    - 警告音は1kHzのサイン波を125msのオン／オフ間隔で4回繰り返します。フェードイン／アウトの時間は1.5秒から0.5秒に短縮されました
    - 警告フィードバック中の音声レベルが67dBSPLから80dBSPLに引き上げられました
    - 警告音のリトリガー待機時間が60秒から1800秒（30分）に延長されました
- Arabicキーボードを使用してuniCOSから送信されたアラビア語のメッセージが、正しく処理送受信されませんでした（UNIMM-5186）
- バッジ認証を利用した会議中、uniCOS卓上デバイスがバッジの取り外しを誤検出し、ログアウト後に再ログインする現象がありました。新しいバッジ検出アルゴリズムにより、この問題への耐性が向上しました。なお、このアルゴリズムは従来より反応が遅く、バッジを外した後ログアウトまで数秒かかることがあります。また、バッジがデバイスに近づいただけでも認識される場合があります（UNIMM-5136）
- 「Finger on sensor」に関連するフリーズ問題を修正しました（UNIMM-5329、UNIMM-5093）
- 会議システム起動時、ネームプレートの青色LEDが初期化シーケンスの一環として点灯し続けることがある問題を修正しました（UNIMM-5057）

PLIXUS 6.7.28

FIXED ISSUES

- 通訳者用デスクにおける聴覚保護機能を改善しました（UNIMM-5358）。
- この対応は、新たな測定手法に基づいており、今後策定予定のISOCD20109（ドラフト）規格のセクション5.1.7への準拠を目的としています。現在の設定は以下の通りです。
    - 警告音は1kHzのサイン波を4回繰り返す構成で、それぞれオン時間125ms、オフ時間125msとなっています。フェードアウトおよびフェードインの時間は1.5秒から0.5秒に短縮されました。
    - 警告フィードバック時の音声信号レベルは、67dBSPLから80dBSPLに引き上げられました。
    - 警告音の再発防止時間（バックオフタイム）は、60秒から1800秒（30分）に延長されました。

PLIXUS 6.7.27

WHAT'S NEW

- FLEXディスプレイにおいて、投票ボタンに使用できる文字数が4文字から5文字に拡張されました。（UNIMM-4792）
- Lingua IDのグースネックマイクからヘッドセットマイクに切り替える際に、確認メッセージが表示されるようになりました。（UNIMM-4885）
- Plixus V-OUT BOXのHDMI出力において、フロア音声が左右チャンネルに含まれるようになりました。（UNIMM-5231）

IMPROVEMENTS

- 通訳者卓のヒアリングプロテクション機能が改善されました。（UNIM-4905）
- TEL20TEL15およびHS20HS15の感度設定値が、CRP 6.6の値に戻されました。（UNIMM-5325）
- uniCOSで逆光（例：窓の前）時に、ウェブカメラのコントラスト設定が改善されました。（UNIMM-4980）
- Flex上のロシア語テキストが修正されました。（UNIMM-5134）
- uniCOSインターフェースにクロアチア語が追加されました。（UNIMM-5132）

FIXED ISSUES

- Interactioで、グループ化されたメッセージが正しく処理されない問題を修正しました。（UNIMM-5275）
- 中央ユニットにおけるメモリリークの問題を解決しました。（UNIMM-5194、UNIMM-5155）
- システムをゼロから起動した際に、音声と映像が出力されないことがある問題を修正しました。（UNIMM-4999）
- Lingua IDにおいて、スローダウンが有効にもかかわらず「Slowdown not enabled」と表示される誤表示を修正しました。（UNIMM-4993）
- 不要なログ出力によりログファイルが圧迫される問題を解消しました。（UNIMM-5013）

Plixus 6.6.27

NEW

- Lingua Interpreter Desk のヘッドセットプロファイルを WebGUI で選択可能に (UNIMM-4900)
- 会議中に Flex ユニットの画面にロゴを表示する設定オプション (UNIMM-4857)
- ログインしていないユニットのマイクを無効にする設定オプション (UNIMM-5020)
- 動作向上
- DeviceManager におけるデバイスリセット動作を再構築 (UNIMM-4978)
- 聴覚保護機能付きの新しいヘッドフォンモデルを Lingua ID のヘッドフォンプロファイル選択に追加 (UNIMM4909)

- モンテネグロ語とセルビア語を uniCOS インターフェイスに追加 (UNIMM-5017)
- uniCOS インターフェイスの言語を更新 (UNIMM-5018)

FIXED ISSUES

- Confidea Flex: L-ID ライセンスのない環境にてバッジやキーコードで自由席会議に認証しようとすると、エラーメッセージの代わりにロゴ画面が表示される不具合の修正 (UNIMM-4924)
- CoConServer または OperatorApp の切断の影響で ERS がクラッシュする不具合の修正 (UNIMM-5109)
- PDF 変換オプションを使用したり、以前の転送が失敗したりした後のユニットへのドキュメント転送が失敗する不具合の修正 (UNIMM-5121)
- イニシャライズが完了したときに Room Server と Service がクラッシュする不具合の修正 (UNIMM-5046)
- Flex ユニットの言語選択リストからの退出を容易に (UNIMM-5041)
- CoConAudioApp：バックアップノードのミックスが機能しない不具合の修正 (UNIMM-5021)
- 特定のケースで IP アドレスを変更した直後に MMU アプリケーションがクラッシュする不具合の修正 (UNIMM4985)
- ファームウェアアップグレードの安定性向上 (UNIMM-4983)
- All dynamics disable が会議マイクのダイナミクスのみを無効にする不具合を修正 (UNIMM-4972)
- USB 経由でのネームプレート更新が常にタイムアウトになる不具合の修正 (UNIMM-4951)
- システムのブートプロセスの安定性向上 (UNIMM-4576)
- キーパッド認証が有効になっている場合において、Confidea FLEX ユニットがバッジ認証のみ表示する不具合の修正 (UNIMM-4707)

Plixus 6.5.39

FIXED ISSUES

- uniCOS/uniBOX の動作安定性向上

Plixus 6.5.3

FIXED ISSUES

- uniCOS/uniBOX の動作安定性向上

Plixus 6.5.29

NEW

- Confidea FLEX/uniCOS：ヒンディー語対応（UNIMM-4946、UNIMM-4816）
- Confidea FLEX：リトアニア語対応（UNIMM-4869）
- 診断ページ：電源状態および無線リンク状態のイベントを受信した場合に診断ページを更新（UNIMM-4952、
- UNIMM-4997）
- 診断ページ：G3/G4WDU 用ワイヤレスアイコン表示（UNIMM-4928、UNIMM-4929、UNIMM-4836）
- 診断ページ：G4 ユニットが USB-C 給電中表示（UNIMM-4945）
- 診断ページ：製造番号、ハードウェアリビジョン番号の表示（UNIMM-4892）
- Brooklyn III カード互換の MME/AE-R ファームウェアを CRP に追加（UNIMM-4927）
- REST API：G4 リンク状態の追加（UNIMM-4926）
- ログファイルサイズを 1MB から 10MB に増加（UNIMM-4592）

FIXED ISSUES

- 新型 uniCOS デバイスの起動動作の修正
- デュアルライセンスを持つ Confidea FLEX で、バッジライセンスがない場合に固定座席ミーティングで「バッジ
- ライセンスがない」というメッセージが表示される問題を修正（UNIMM-4591）
- フリーシーティングで認証ライセンスがない場合、Confidea FLEX がエラーメッセージを表示する問題の修正（UNIMM-4924）
- シート上の Dante の感度調整が機能しない問題の修正（UNIMM-4787）
- 起動後に uniCOS ユニットで時折黒いビデオオーバーレイが表示される問題の修正（UNIMM-4826）
- uniCOS/uniBOX インターフェースのデフォルトフォントサイズがすべてのユニットタイプに対して「Medium」
- に設定されていない問題の修正（UNIMM-4865）
- CU を 7.7 から 6.5 にダウングレードすると CoCon ドキュメントのアップロードが壊れる問題の修正（UNIMM4923）
- API：非アクティブな Lingua ID がリレーCH を変更するとマイクオフイベントが生成される問題の修正（UNIMM-4868）
- Confidea FLEX：固定座席において認証が機能しない問題の修正（UNIMM-4849）

- Lingua ID：ソフトウェアバージョンが 0.NaN.undefined と表示される問題の修正（UNIMM-4680）

Plixus 6.4.20

NEW

- Plixus との G4 カップリング（UNIMM-4803）
- 「Enter Meeting」を押すまで FLEX デバイスにウェルカムメッセージが留まるように（UNIMM-4781）
- Dante 入力でダイナミクスを無効にすることが可能に（UNIMM-4464）
- デバイスが単一の代表者に変更されると、デュアルデリゲートからの追加シートが自動的に削除されます（UNIMM-4743）
- SoftwareUpdate ページに「delete all offline devices」ボタンを追加（UNIMM-4742）
- スリープモード中の FLEX のスクリーンタップは自身のデバイスのみを起動します（UNIMM-4705）
- フィンガープリントメッセージを Unicos インターフェイス言語で出力（UNIMM-4642）
- API で V-out のビデオチャネル選択を制御可能（UNIMM-4290）
- Plixus NEXT 2 nd gen hardware version 1.06 対応
- Brooklyn III カード対応

FIXED ISSUES

- アジェンダ項目が多い場合におけるパフォーマンスの向上（UNIMM-4789、UNIMM-4788）
- 接続したデバイスがオフラインとして表示される不具合を修正（UNIMM-4761、UNIMM-4632、UNIMM-4412、UNIMM-4009）
- イニシャライズのクローズ直後に Plixus Core が動作を停止する不具合を修正（UNIMM-4741、UNIMM-4704）
- 指紋リーダーのパフォーマンスを向上（UNIMM-4709）
- UnicosTT のビデオは常に安定しない不具合を修正（UNIMM-4651）
- USB 経由で接続されたネームプレートが稀に正しく開始しない不具合を修正（UNIMM-4609）
- USB 経由で接続されたネームプレートが稀に正しくアップデートされない不具合を修正（UNIMM-4584）
- ユニット交換操作し再起動後にデバイス構成が正しくないことがある不具合を修正（UNIMM-4183）
- Unibox は更新後に適切に機能しなくなる不具合を修正（UNIMM-4602）

KNOWN ISSUES

- Seat ID を変更してからシートプライオリティを変更する前に、ページのリフレッシュが必要です（UNIMM4825）

Plixus 6.3.110

- 3rd Floor を使用する場合、Lingua ID の機能は次のように変更されます。LinguaID の「Floor」をモニターしているときは、FloorCS/FloorOUT の代わりに FloorID チャンネルがモニターされます。通訳中でない（アクティブでない）チャンネルをモニターしたとき、そのチャンネルの設定されたバックアップノードの代わりに FloorID チャンネルがモニターされます。デバイスの動作に変更はありません。

NEW

- Lingua ID のための別のフロアチャンネル（FloorID）サポート（COC-3613）
- インターカム API の追加（UNIMM-4652）
- V-out でビデオチャネルを変更するために利用可能（UNIMM-4290）
- uniCOS インターフェイスでのアジェンダ番号の削除（4605）

FIXED ISSUES

- 指紋リーダー（1st gen）との互換性がない問題を修正（UNIMM-4451）
- バックアップファイルのリストア時に、LS ボリューム値が設定どおり適用されない問題を修正（UNIMM-4500）
- 警告（Warning）状態のデバイスが正しく点滅表示しない場合がある問題を修正（UNIMM-4501）
- デバイスが何も接続されていない時に Plixus WEB GUI にアクセスできない不具合を修正（UNIMM-4597）
- FLEX の UI に表示されるアクティブマイクの数値が正しくない問題を修正（UNIMM-4603）
- uniCOS インターフェイスで、アジェンダ表示にハードリターンが含まれない問題を修正（UNIMM-4622）
- API 'RoomGetAllUnits' の返却値が UniType 文字列ではない 16 進コードとなっている不具合を修正（UNIMM4627）
- UniCOS で再起動後、新しい会議を開始すると議題と投票コントロールが機能しない不具合を修正（UNIMM4630）
- Aux 出力にフロアチャンネルが出力されないことがある不具合を修正（UNIMM-4664）
- Lingua ID ディスプレイのチャンネル表示（Channel quality and status）が正しく表示されないことがある不具合を修正（UNIMM-4667）
- 2 つのマイクがアクティブの場合、オートゲインリダクションが適用されない不具合を修正（UNIMM-4681）
- ブランチの最後尾の Lingua ID がリスタートし続ける不具合を修正（UNIMM-4685）

KNOWN ISSUES

- uniBOX のアップデートを実行しないでください。ユニットが正常に起動しなくなります（テクニカルサポートにお問い合わせください）（UNIMM-4602）

Plixus 6.3.99

NEW

- uniCOS でキーパッドを使用すると、入力テキストを非表示にし、必要なときに再表示できる機能を追加（UNIMM-4636）
- uniCOS のカメラ品質の改善（UNIMM-4631）
- FLEX アジェンダインターフェースから CoCon のアジェンダ ID を削除（UNIMM-4575）
- 投票中の FLEX の UI の改善（UNIMM-4574）
- 2nd Gen Unicos デバイスのスクリーンセーバーを追加（UNIMM-2819）
- 誤訳修正

FIXED ISSUES

- Lingua ID がアップデート後に適切に起動しない不具合を修正（UNIMM-4628）
- 大規模な機器構成におけるパフォーマンスの改善（UNIMM-4578、UNIMM-4276）
- 自由席会議での指紋認証アプリケーションがクラッシュする問題を修正（UNIMM-4581）
- API getAllChannelRealtimeData が HTTP500 エラーを返す不具合を修正（unimm-4573）
- FLEX デバイスで Desfire カードをサポートしていない不具合を修正（UNIMM-4543）
- ロギングレベルフィールドが空白になる不具合を修正（UNIMM-3104）
- LinguaID でチャンネルクオリティが更新されない不具合を修正（UNIMM-4667）
- 全般的なパフォーマンスの改善

KNOWN ISSUES

- V-OUT の出力を設定する API コールは実装されておりません（UNIMM-4290）
- uniBOX ユニットをこのバージョンにアップデートしないでください。ユニットが正常に起動しなくなります（テクニカルサポートにお問い合わせください）（UNIMM-4602）

Plixus 6.3.79

NEW

- バーチャルブースによる外部翻訳に対応しました。この機能は特別なライセンスが必要です（UNIMM-4430）
- uniCOS：トルコ語に対応（UNIMM-4506）、ウクライナ語に対応（UNIMM-4486）
- Confidea FLEX：デュアルデリゲートでの PIN コードログインに対応（UNIMM-4503）
- Lingua ID：TEL20/HS20 プロファイルをサポート（UNIMM-4474）

FIXED ISSUES

- uniCOS：ヘブライ語翻訳を更新（UNIMM-4563）
- uniCOS：本体が連続的に再起動する可能性がある問題を修正（UNIMM-4533）
- Lingua ID-MM：HDMI 出力が不安定な場合がある問題を修正（UNIMM-4479）
- V-IN：HDMI 入力が不安定な場合がある問題を修正（UNIMM-4472）

KNOWN ISSUES

- V-OUT の出力を設定する API コールはありません（UNIMM-4290）
- uniBOX ユニットをこのバージョンにアップデートしないでください。ユニットが正常に起動しなくなります（テクニカルサポートにお問い合わせください）（UNIMM-4602）
- API コール /CoCon/Interpretation/GetAllChannelRealtimeData が HTTP500 エラーを返す場合があります（UNIMM-4573）

Plixus 6.3.43

NEW

- uniCOS / uniBOX：アラビア語、ロシア語、ウクライナ語のキーボードをサポート
- Confidea FLEX：投票ラベルを使用可能に
- Confidea FLEX：会議開始されていない状態でも NEXT-in-line ボタンを使用可能に

- Confidea FLEX：PIN コードログイン(1 回のみ使用可能)を可能に
- Confidea FLEX-S 対応

FIXED ISSUES

- uniCOS スクリーンセーバーを次回リリースまで無効化
- Confidea FLEX の投票プレゼンスチェックの不具合を修正
- AE-R 録音機能で残時間計算の不具合を修正、またメモリフル時のファイル上書きの不具合を修正
- 指紋認証の全般的な改良：起動時の問題の修正、セキュリティレベルの向上、認証速度の向上、uniCOS ユニットへのフィードバックの改善
- Confidea FLEX：投票タイマー時間切れ時「did not vote」メッセージが表示される問題を修正
- API：SetNextButtonEnabled が VIP ユニットで有効にならない不具合を修正
- V-OUT：まれに映像がちらつく問題を修正

Plixus 6.3.28

NEW

- uniCOS（FMM7, FMM10 TMM10）：画面消灯機能を追加。無操作 30 分で画面オフとなり、バッジ挿入あるいは物理ボタンを押すことで再度オン
- API 経由で uniCOS（F/MM7, F/MM10 T/MM10 のみ）端末の画面 ON/OFF をサポート
- uniCOS の指紋認証と新しい指紋センサーに対応（ログイン試行時のフィードバックを含む）
- Lingua ID：HME-46-31 ヘッドセットのプロファイルを追加
- uniCOS：UI のフォントサイズを大きくする変更
- LinguaID：ディスプレイを無操作 30 分後にオフするよう変更（従来は 3 時間）
- audioBOX デバイス対応

FIXED ISSUES

- PHP バージョン 7.3.22 対応（UNIMM-4252）
- Confidea FLEX ：ライセンスが割り当てられていないユニットを議長設定できない不具合を修正（UNIMM-3813）Plixus Core のアップデート画面およびイニシャライズリストで、uniCOS TMM10 が uniCOS FMM10 と表示される不具合を修正（UNIMM-3103）
- REST API：AddChannels コールの不具合を修正（UNIMM-3836）
- REST API："GetAllUnits" コールがすべての 'UnitType' フィールドに対して 'unknown' を返す不具合を修正（UNIMM-3833）
- グループディスカッションモードに関する問題を修正（UNIMM-4177）
- 複数のマイクオンオフにより、まれにマイク応答の遅延が発生する不具合を修正（UNIMM-4170）
- REST API を大量に連続して呼び出すと、まれにシステムが応答しなくなることがある不具合を修正（UNIMM4161）
- loop/branch "モードにおいて、診断ページにデバイスが表示されないことがある不具合を修正（UNIMM4156）

KNOWN ISSUES

- V-OUT 出力を設定する API コールはありません（UNIMM-4290）
- 同通ブース 1 がない場合に最後番のブースに言語を割り当てることができません（UNIMM-4288）
- Plixus WEB GUI で 1 台以上のユニットを削除した後に、イニシャライズされていないユニットの数が正しく表示されません（UNIMM-4186）
- API：SetNextButtonEnabled コールは、VIP 席には効果がありません（UNIMM-4181）
- CoCon Room Configurator でホームタブを無効にすると、uniCOS メニュータブにコンテンツが表示されなくなります（UNIMM-4180）
- ビデオストリーム名に日本語が含まれる場合、映像が表示されません（UNIMM-4179）
- 機器のファームウェアアップデートに失敗した場合、デバイスが unknown と表示されます（UNIMM-3608）
- ブランチ内の最後の Lingua ID にはリレーのプリセットが設定されません（UNIMM-3527）
- マイクを無効にすると、API で有効にした Prior/next ボタンの LED が消灯します（UNIMM4367）
- LinguaID： マイクがアクティブの時、API 経由でオーディオルーティング設定を変更するとオーディオルーティングの問題が発生する可能性があります（UNIMM-4138）
- オーディオルーティングの設定で、出力グループを削除した後に追加すると、同じ出力グループ内でチャンネルが混在する可能性があります（UNIMM-4374）

Plixus 6.3.11

NEW

- Confidea FLEX デュアルデリゲート機能のサポート

- Confidea FLEX サービスコール機能のサポート
- Confidea FLEX の自動輝度調整のサポート

FIXED ISSUES

- LinguaID：ループ接続、またはブランチの最後の通訳デスクでリレー設定が反映されない問題を修正（UNIMM3674）
- Confidea FLEX：ユニットにライセンスが割り当てられていない場合、議長設定できない問題を修正（UNIMM3813）
- Lingua ID：まれにマイクが ON にならない問題を修正（unimm3796）
- Plixus Engine：稀に、エンベデッドルームサーバーが再起動し続ける問題を修正（UNIMM-3795）
- Confidea 2D2I：右のマイクボタンをオンしても LED リングが点灯しない不具合を修正（UNIMM-3702）
- API：SetNextButtonEnabled コールの問題を修正（UNIMM-3682）
- Dante アサインしたバックアップチャンネルで、音が出ない場合がある問題を修正（UNIMM3604）
- Confidea FLEX：ミーティングスタートアップ画面を削除（UNIMM-3814）

KNOWN ISSUES

- WCAP：Plixus カップリングで使用した場合、まれに、また長時間稼働後に、内部音声ルーティングが不正になることがあります（UNIMM-3791）
- Confidea G3：カップリングモードのシステム起動前にワイヤレスユニットを起動した場合、リンクできないユニットがあり、復旧にシステムの再起動が必要な場合があります（Unimm-3676）
- CoCon ソフトウェアからデフォルトの UI 言語を設定する場合、Confidea FLEX では以下の言語のみがサポートされています：英語、フィンランド語、イタリア語、ロシア語、ドイツ語、アラビア語、中国語、フランス語、日本語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、およびオランダ語 これらは uniCOS、uniBOX ユニットには適用されません
- オープンアクセスモードにおいては、システム再起動後にラウドスピーカーの音量がデフォルト値にリセットされます（UNIMM-3830）

Plixus 6.2.14

NEW

- Confidea FLEX をサポート
- uniCOS：UI 言語のポーランド語サポート
- ブース設定 API コールのサポート

FIXED ISSUES

- CoCon Operator：API 経由で操作した際に映像同期しない場合がある問題を修正（UNIMM-3557）
- uniBOX から HDMI の接続を外した後に、映像が復旧しないことがある問題を修正（UNIMM-3552）
- PRIOR アクションでマイクをオフした場合、マイク LED 色ステータスが不正になる問題を修正（UNIMM-3505）
- まれに、正しい遅延時間で応答を待たずに複数の API コールを送信すると、誤ったフィードバック結果が得られ
- る問題を修正（UNIMM-3503）
- SetNextButtonEnabled および SetPriorButtonEnabled の API コールに関する問題を修正（UNIMM-3499）
- Dante カードが挿入されていないとき、まれに Dante 入力から妨害音が聞こえる問題を修正（UNIMM-3484）
- Confidea D2I の右側のチャンネルセレクターで、ヘッドフォンミュートが機能しない不具合を修正（UNIMM3240）

KNOWN ISSUES

- 起動時、まれに特定の Dante チャンネルにバックアップチャンネルが存在しないことがあります（UNIMM-3604）
- Lingua ID：リセット操作が、輝度およびマイクのハイライトで機能しません（UNIMM3527）
- LinguaID：システム再起動後、リレーのプリセットが設定されないことがあります（UNIMM3527）
- スローダウン要求時やスピーチタイマー警告時、ネームプレートの LED が点滅しません
- アップデート後にシステムを再起動すると、Plixus エンジンの WEB GUI が更新されない場合があります（UNIMM-3413）
- uniCOS：投票オプション「0」が有効でない場合、クォーラムプレゼンスのチェックが機能しないことがあります（UNIMM-3331）
- V-OUT で選択不可能な特定のビデオストリームを強制的に出力することはできません（UNIMM-3179）
- WEB GUI で、ダイレクトアクセスが有効にもかかわらず、マイクをリクエストモードにすることができます
- （UNIMM-3209）
- カップリングモード時、システム再起動後または新しいワイヤレスユニットをシステムに追加する際、一部のワイヤレスユニットが正しく検出されないか、誤った設定になっている場合があります。バッテリーを一度取り外すと復旧します（UNIMM-36766 ）
- CoCon ソフトウェアからデフォルトの UI 言語を設定する場合、Confidea FLEX では以下の言語のみがサポートされています：英語、フィンランド語、イタリア語、ロシア語、ドイツ語、アラビア語、中国語、フランス語、日本語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、およびオランダ語 これらは uniCOS、uniBOX ユニットには適用されません

Plixus 6.0.16

NEW

- UNICOS の PDF ドキュメントのスクロールとズームの改善
- Unicos UI の押しボタンに関する視覚的フィードバックの改善
- 日付/時刻、色、または背景画像を備えた uniCOS の構成可能なスタンバイ画面
- Unicos のスタンバイ画面にビデオオーバーレイ可能
- 議長設定の UNICOS にマイクコントロールを追加
- Unicos タブの表示/非表示が設定可能に
- uniCOS UI 言語としてトラディショナルな中国語を追加
- テンポラリーリクエストセッションのサポートを追加
- Lingua ID メニューページをユーザーが誤って開くことを避けるため、遷移にはホイールキーの押下が必要になるようにしました。
- Lingua ID の言語リストが終わりに到達したときに音声通知する機能を追加

FIXED ISSUES

- まれに、ファイルシステム内のファイルが破損しているために uniCOS スデバイスが起動しない問題を修正しました（UNIMM-3383）
- WebGUI：ある条件下でスピーカーのボリュームが 0db に設定されているが実際に-96db で動作する不具合を修正（UNIMM -3348）
- ログファイルを利用できなくなるいくつかの問題を修正（UNIMM-3337）
- CU 再起動後、デフォルトのスピーカーボリュームがデフォルト値に設定される問題を修正（UNIMM-3333）
- Lingua Interpreter Desk で、TEL15 以外のヘッドセットを選択できない場合がある問題を修正しました。(UNIMM-3309)
- WebGUI：ソフトウェアのアップデートが失敗したと表示される場合がありますが、実際には成功している問題を修正しました（UNIMM-3307）
- ある条件下で、Unicos デバイスにドキュメントデータがたまり、デバイスのストレージがいっぱいになる問題を修正（UNIMM-3305）
- WCAP G3 を Plixus カップリングするときにある条件下でイニシャライズを失敗する問題を修正（UNIMM-3285）
- uniCOS messaging：別の座席に移動した後にユニットにメッセージ表示されるメッセージの不具合を修正（UNIMM-3277）
- ある条件下で、マイクオン時 uniCOS デバイスの reply リストから参加者情報が削除されない問題を修正（UNIMM-3265）
- WebGUI で Initialization オープン後、デフォルトのスピーカーボリュームが 0dB にリセットされる場合がある問題を修正（UNIMM-3246）
- マイクステータス API notification の問題を修正（UNIMM-3228）
- CoCon の「from relay」フィールドを変更すると、アクティブなブースに「floor」と表示される不具合を修正（UNIMM-3227）
- API イベントビューアにおいて、不正なタイムスタンプが表示される問題を修正（UNIMM-3147）
- Unicos デバイスのヘッドフォンボリュームが起動後にデフォルトの設定にならない場合がある問題を修正（UNIMM-3139）
- 容量の大きなドキュメントを受信後まれに uniCOS が再起動する問題を修正（UNIMM-3111）
- マイクがアクティブになったときに、Confidea 2D2I ユニットでミュートされていないチャネルセレクターの問題を修正（UNIMM-2560）
- ライセンスファイルが CU のバックアップの一部ではなかった問題を修正（UNIMM-2516）
- オーディオ設定のバックアップノードが意図せず設定される問題を修正（UNIMM-3269）
- Lingua ID のマイクがアクティブな状態でマイクをオンオフすると、まれにフロアで短い音声の歪みが発生する問題を修正（UNIMM-1197）。
- ある条件下で、録音開始時 Plixus AE-R エンジンの LED が点灯しない問題を修正（UNIMM-3534）

KNOWN ISSUES

- システム再起動後、リレー設定がブランチ接続されている LinguaID に正しく設定されていません（UNIMM-3527）
- DU の LED が点滅とネームプレートの LED が同期しない（UNIMM-3510）
- Plixus Nameplate LED は、スローダウンが要求されたときに点滅しない
- uniCOS デバイスにバッジを挿入した後の場合には、マイクが再びオフになるまで代表者の情報が更新されない可能性があります（UNIMM-3508）
- まれに、非常に大きなドキュメントまたは多くの小さなドキュメントを同時にアップロードすると動作しません（UNIMM-3363）
- 視聴者の表示が有効になっている場合、マイクボタンを押すイベントの処理が遅れます（UNIMM-3352）
- Quorum Presence チェックは、投票オプション「0」が有効になっていない場合、Unicos デバイスでは機能しません（UNIMM-3331）
- V-out で選択できない特定のビデオストリームを強制することは機能していません（UNIMM-3179）
- ある条件下で、新しいリビジョンの LinguaID が画面の下部に白い線を表示する可能性があります（UNIMM-3017）
- まれに、UNICOS デバイスで reply を有効にすると、議長機能が有効になります（UNIMM3011）
- Plixus AE-R ユニットを 5.2 から 5.3 に更新後に WCAP G3 を結合する場合、オープンアクセスに設定され、マニュアルイニシャライズをやり直す必要があります（UNIMM-2497）
- 会議の開始時に、ワイヤレスユニットに挿入されたバッジは再挿入されるまで読まれません（UNIMM-2413）

- ワイヤレスデリゲートユニットを再起動せずにシステムを再起動した後、チャネルセレクターは WCAP が再起動されるまで更新されません（UNIMM-2409）
- CoCon ビデオマネージャーと構成を使用してビデオ構成を適用する場合、Delegates ストリームが V-out または LinguaID-MM に使用できる特定のルーティングをルーティングする場合、このストリームはストリーム 1 ではありません。（UNIMM-3545）
- WCAP ユニットは、Plixus Diagnostics に誤ってブランチに表示されます（UNIMM-3536）
- reply 機能を使用して会議を停止した後、Unicos ユニットはまだ専用の reply ボタンを表示する場合があります（UNIMM-3551）

Plixus 6.0.16

FIXED ISSUES

- マルチメディアユニットのスタートアップに関する問題を修正
- 5.x にダウングレードすると、まれに LinguaID が反応しなくなる可能性がある問題を修正
- LinguaID ヘッドセットの選択が選択された選択の代わりに自動的にデフォルトに戻る問題を修正
- Plixus Nameplate LED は、マイク LED と同期されるようになりました

Plixus 6.0.12

FIXED ISSUES

- V-REQ ボタンを押すと起動し、同じ能力を 2 回持つユニットがある問題を修正（UNIMM-3356）
- ある条件下で、LinguaID がアップデート後に起動しない問題を修正（UNIMM3358）

KNOWN ISSUES

- デフォルトのチャネルセレクターボリュームは、Cocon Room Configurato の調整やリセット操作に反応しません（UNIMM-3338）
- CU 再起動後、UI は設定したボリュームが適用されていますが、スピーカーボリュームのデフォルト値を表示します（UNIMM-3333）
- Lingua ID のヘッドセットタイプの選択が機能していません（UNIMM-3309）
- イニシャライズをオープンすると、スピーカーのボリュームがデフォルト値にリセットされます（UNIMM-3246）
- DANTE 対応シートのマイクをオフにすると、SeatDiscussionStateChanged イベントと SpeakerListChanged イベントが生成されない（UNIMM-3146）

Plixus 6.0.1

FIXED ISSUES

- 結合モードでの Confidea G3 ユニットのイニシャライズの問題を修正（UNIMM-3285）
- Lingua ID で SlowDown を使用するときの問題を修正 ある条件下で、この関数がトリガーされたときにシステムが反応しなくなる可能性があります（UNIMM-3303）

KNOWN ISSUES

- デフォルトのチャネルセレクターボリュームは、Cocon Room Configurato の調整やリセット操作に反応しません（UNIMM-3338）
- CU 再起動後、UI は設定したボリュームが適用されていますが、スピーカーボリュームのデフォルト値を表示します（UNIMM-3333）
- Lingua ID のヘッドセットタイプの選択が機能していません（UNIMM-3309）
- イニシャライズをオープンすると、スピーカーのボリュームがデフォルト値にリセットされます（UNIMM-3246）
- DANTE 対応シートのマイクをオフにすると、SeatDiscussionStateChanged イベントと SpeakerListChanged イベントが生成されない（UNIMM-3146）

Plixus 6.0

NEW

- VIP デリゲートモードのサポート
- マルチストリームビデオルーティングのサポート

- DU と通訳ブース間のインターホンのサポート
- dante on-seat のサポート（ディスカッション機能を備えた外部オーディオチャネルを使用）
- Plixus Core Web ページのシートラベルのサポート
- CoCon for Plixus（Cocon Classic）サポートおよび従来の Plixus WebGUI モードを削除
- WebGUI にシステム診断を追加、ユニット、ブランチ、ループを監視
- uniCOS インターフェイス言語としてのヘブライ語とタイのサポート（unimm-3051）
- スタートアップ画面を LinguaID に追加（UNIMM-3017）
- 返信機能の完全なサポートを追加（UNIMM-2953）
- ユニットがインターホンコールにあるときにマイクボタンの色として青を追加（UNIMM-2951）
- シリアル番号やソフトウェアバージョンなどの LinguaID に関する追加情報を表示（UNIMM-2847）
- 投票のみユニットのマニュアルイニシャライズのサポートを追加（UNIMM-2696）

FIXED ISSUES

- Unibox Gen1 に接続された埋込チャネルセレクターの OLED ディスプレイが機能しない問題を修正（UNIMM3140）
- Cocon Nameplate ライセンスがシステムに存在しなかった場合、Cocon Signage を使用できない問題を修正
- （UNIMM-3113）
- ユニットがシステムから切断されたとき、再接続後にマイクのイベント応答が遅い問題を修正（UNIMM-3112）
- CU 再起動後、結合された WDU が表示されない場合がある問題を修正（UNIMM-3053）
- Lingua ID の UI で、選択したマイクを変更しても更新されない問題を修正（UNIMM-3034）
- ある条件下でユニットを座席に割り当てた後にマイクオンが機能しない問題を修正（UNIMM-3033）
- オーディオ入力または出力グループにいくつかのオーディオ入力を追加できなかった問題を修正（UNIMM-3031）
- ある条件下で、一部ユニットが WebGUI に「Others」と表示される問題を修正（UNIMM-3018）
- LinguaID のヘッドセットボリュームコントロールの問題を修正（UNIMM-2976）
- 一部の CU で、再起動後に現在の日付と時刻を記憶しない問題を修正（UNIMM-2971）
- Unicos インターフェイスの reply 機能の問題を修正（UNIMM-2956）
- 設定ファイルが誤ったソフトウェアバージョンを参照する問題を修正（UNIMM-2942）
- Unicos インターフェイスのミドルネームの位置の改善（UNIMM-2926）
- オープンアクセスモードのときにある条件下ですべてのユニットが検出されない問題を修正（UNIMM-2919）
- Plixus Core Web ページの改善されたデバイスの並べ替えとデバイス名（UNIMM-2887）
- PHP のセキュリティの脆弱性の向上（UNIMM-2884）
- システム再起動後、LinguaID のスローダウン設定の持続性の問題を修正（UNIMM-2842）
- すでに使用されているチャネルで AddChannel API を使用した場合、ブースへの 2 つの言語の誤った割り当ての問題を修正（UNIMM-2810）
- Plixus Core の Web ページで、アップデートされたユニットの拡張状態が正しく表示されない不具合を修正
- （UNIMM-2712）
- 「automatically routing interpretation channels to Dante」機能がカスタムオーディオルーティングに影響される問題を修正（UNIMM-2619）
- フラッシュマウントユニットのインターコムの問題を修正（UNIMM-2506）
- LinguaID のスピーカーチャネルの変更に関する問題を修正（UNIMM-2504）
- オーディオ設定名の文字数を制限（UNIMM-2233）
- CU 再起動後、スピーカーボリュームを変更するフロントパネルノブがロック解除される問題を修正（Unim1224）
- Confidea G3 と Prixus Core の Web ページ間のディスカッションモードの名称の整合性を改善(UNIMM-771)
- まれに、結合された WCAP がピンクの LED を誤って表示する不具合を修正（UNIMM-3114）

KNOWN ISSUES

- Dante が有効なシートの電源を切ると、SeatDiscussionStateChanged イベントと SpeakerListChanged イベントが送信されません(UNIMM-3146)
- Unicos デバイスに非常に大きなドキュメント（100 MB 以上）を送信する場合、デバイスが再起動する場合があります（UNIMM-3111）
- まれに、Unicos デバイスの reply ボタンを有効にすると、そのユニットに議長機能が生じます（UNIMM-3011）
- CU 設定のバックアップには、ライセンスファイルが含まれていません（UNIMM-2516）
- システム再起動後、まれに uniCOS デバイスのヘッドホン音量設定がデフォルトの音量設定ではなく、0dB に設定される（UNIMM-3139）
- Plixus Core の Web ページで Lingua Interpreter Desk の番号を変更すると、まれに通訳設定が正しく行われない場合があります（UNIMM-3137）
- ダイレクトスピーキングモードのとき、ユーザーがリクエストシートを置くことができます。Plixus Core のオペレーターウェブページを使用して、シートをリクエストにすることができます（UNIMM-3029）
- システム再起動後、まれに Confidea G3 ユニットのチャンネルセレクターが更新されないことがある (UNIMM2409)
- Plixus 6.0 に対応するためには、Confidea G3 ユニットと WCAP をバージョン 3.2.4 以降にアップデートする必要があります。
- reply 機能を無効にすると、reply リストがクリアされない（UNIMM-3237）

Plixus 5.4.24

NEW

- Unicos UI；タイ語のサポート

FIXED ISSUES

- uniCOS に接続したヘッドフォンから音が出ないことがある問題を修正
- ヘッドフォンミュートが持続する問題を修正
- 専用の reply ボタンを備えたユニットの返信設定の問題を修正
- まれに、システムの起動後に uniCOS のマイクが機能しない問題を修正
- ユニットのスワッピングに関する不具合を修正
- Desfire バッジ検出の不具合を修正
- CU に保存されている文書が再度アップロードされた場合、交換されなかった不具合を修正
- Plixus REST API で、接続 ID の有効期限が切れた場合の応答が不正になることがある問題を修正
- uniCOS インターフェースでミドルネームの位置がずれることがある問題を修正
- オープンアクセスモードにおいて、まれに一部のユニットが検出されない場合がある問題を修正
- ヘッドフォンのデフォルト音量を変更すると、チャンネル選択がフロアチャンネルにリセットされる不具合を修正
- 無記名投票を選択した際に、API を通じて個々のボタン押下を受信してしまう不具合を修正
- uniCOS でまれに同時通訳チャンネルが選択できなくなる不具合を修正
- オーディエンス表示が有効な場合に、Lingua ID の設定をリセットしてもチャンネルがリセットされない不具合を修
- ビデオ選択ボードで、ビデオストリーム番号が尊重されない場合がある問題を修正
- ヘッドフォンのミュートに関する問題を修正
- Confidea 2D2I ユニットでマイク LED の表示が正しくなかった問題を修正

KNOWN ISSUES

- Intercom 機能にいくつかの問題があるためこのバージョンではこの機能の使用をお勧めしません
- Confidea 議長ユニットからのボリュームコントロールが機能しない
- アップデートページには、エンジンに接続されたことのあるすべてのユニットが表示されます
- WCAP G3 と組み合わせた Plixus AE-R を 5.2 から 5.3 へアップデートすると、初期化がオープンアクセスに変更されます。このため、アップデート前に WCAP を Plixus AE-R から切り離す必要があります
- バックアップにはライセンスファイルが含まれません

Plixus 5.3.34

FIXED ISSUES

- AE-R＋ネットワークエクステンダーにおける設定がサポートされていない不具合を修正
- Plixus Central Unit と CoCon Room Server 間の通信に失敗した場合、CoCon Room Configurator のシノプティックビューが失われる場合がある問題を修正
- CoCon Interpreter Application の Audience 表示に関する不具合を修正
- Plixus Nameplate などの新しいユニットに対応するために、2 回のソフトウェアアップデートが必要となる不具合を修正
- フラッシュマウント型 Dual Delegate ボード Confidea に接続されたボタンボードをまれに認識しない不具合を修正
- イニシャライズ後、まれにイニシャライズが保存されない場合がある不具合を修正
- 最大 6 本のマイクを使用した際の Confidea G3 カップリングオーバーライドの不具合を修正
- Auto-Floor 機能の不具合を修正

KNOWN ISSUES

- Intercom 機能にいくつかの問題があるためこのバージョンではこの機能の使用をお勧めしません
- WCAP テイクオーバー機能を使用後にイニシャライズを開始すると、ユニットが元の WCAP に関連付けられたままになっている
- Lingua ID のラウドスピーカーチャンネルを変更することができない
- アップデートページには、これまでエンジンに接続されたすべてのユニットが表示されます
- Plixus Core で、マイク起動時にヘッドホンが自動的にミュートされない
- WCAP G3 と組み合わせた Plixus AE-R を 5.2 から 5.3 へアップデートすると、初期化がオープンアクセスに変更されます。このため、アップデート前に WCAP を Plixus AE-R から切り離す必要があります

Plixus 5.2.25

FIXED ISSUES

- Confidea -F のユニットが動作干渉する場合がある不具合を修正
- Lingua-ID が正しく起動しない場合がある不具合を修正
- Confidea-T 2D2I で、左のマイクボタンを押すとノイズが入る場合がある不具合を修正
- Plixus Core で 1000 台以上のユニットを使用した際に発生するメモリの問題を修正